

第3回連続テレビ小説を生かした博覧会推進協議会 議事概要

日時：令和4年10月18日(火) 13:30～15:00
場所：ザクラウンパレス新阪急高知 3階 花の間

1 開 会

進行：高知県観光政策課 仙頭課長補佐

2 会長挨拶

挨拶：高知県 濱田知事

3 委員の交代について

資料1 委員等名簿 新旧対照表

説明：高知県観光政策課 仙頭課長補佐

4 報告事項

進行：高知県 濱田知事

(1) 県外ゆかりの地との連携事業について

資料2 県外ゆかりの地との連携事業について

説明：高知県観光政策課 鈴木課長

(2) 受入環境の整備状況について

資料3 受入環境の整備状況について

説明：高知県地域観光課 別府課長

(3) ロゴマークの活用について

資料4 ロゴマークの活用について

説明：高知県観光政策課 鈴木課長

(4) 令和4年度おもてなしキャンペーンの取り組みについて

資料5 令和4年度おもてなしキャンペーンの取り組みについて

説明：高知県観光政策課 おもてなし室 山本企画監

5 議題

(1) 第1号議案

令和4年度 第二次事業計画(案)等及び収支予算(案)

資料6 令和4年度第二次事業計画(案)、令和5年度第一次事業計画(案)、収支予算(案)

議案参考資料① 「牧野博士の新休日」の展開イメージ(案)

議案参考資料② 連続テレビ小説を生かした観光振興(スケジュール案)

議案参考資料③ 当面のプロモーション等の展開(案)

説明：高知県観光政策課 鈴木課長

委員全体の賛同を以て第一号議案について承認

(2) 県民の機運を高めていく取り組みについて (案)

資料7 県民の機運を高めていく取り組みについて (案)

説明：高知県観光政策課 鈴木課長

機運を高めていく取り組みについての発言

【発言】空岡委員

- ・ 集落活動センター「加茂の里」では、これまでも「バイカオウレン花祭り」という牧野博士に関するイベントなど、草花に関連する取り組みを年間を通じて実施している。これらの行事と博覧会を絡めてPRするなど、集落活動センター全体で盛り上げていきたい。

【発言】楠瀬委員

- ・ 「らんまん」のテレビ放送は近年にない最高のチャンス。博覧会推進にあたって、県民をあげて取り組み、機運を高めていくことは、大変な事業であるとともに、とてもありがたいことだ。コロナで冷え込んだ高知県経済の起死回生のチャンスとなるべく、皆様とともに尽力したい。
- ・ 今日の情報社会における観光客誘致については、高知県だけでなく全国の自治体が様々な施策を考えている。観光客に来ていただけることは非常にありがたいことであり、観光客が使ったお金は、高知県経済への輸血となり得ることを、一次産業、二次産業を問わず県民全体が認識しなければならない。1人あたりの高知県における観光消費額は数万円。400万人観光が実現すれば、一次産業や園芸産業をしのぐ収益、そして2倍3倍の波及効果を見込むことができ、ひいては間接的に一次産業も潤う。このことを県内マスコミ等から発信し、キャンペーン等を行って、県民へ啓発してほしい。
- ・ 観光には「歓迎」が重要だが、高知県の空港などには「歓迎」という旗が無い。各地に旅に出ると「歓迎」の言葉が目に入る。地元の人によるあいさつや声をかけることを運動として進めて行くなど、県民の機運をいかに高めるか、もう一步踏み込んだ運動も必要ではないだろうか。おもてなし県民会議等では素晴らしい発言がなされているが、果たしてそれが県民に届いているかどうか。県民総ぐるみとなって機運を高めてもらうために、市町村・観光協会・広域観光団体・KVC Aが、県民に向けておもてなしの大切さを隅々まで発信してほしい。
- ・ 経験上、地元の方とのコミュニケーションによって旅情が生まれ、印象に残る。忘れられない感情や非日常感をお客様に得てほしい。また、高知県のおいしいものを地元の方にもっと自慢して欲しい。大枚をはたいて高知に来てくれていることを念頭に、観光客に旅情が生まれるような努力が必要だと思われる。
- ・ 牧野博士の素晴らしさを発信するために、牧野博士が親しんでいた都都逸の作品を公募してみてもどうか。

【発言】広末委員

- ・ 龍馬伝の際の観光事業と比較すると、今回はメインとなる博覧会会場がない。高知県下すべてが会場であり、「モノじゃないモノを売る」ということに難しさを感じている。龍馬伝のオープニングセレモニーでは、パレードを大々的に行い、多くの人が集まるなど盛り上がりを見せた。さらに、大河ドラマ「龍馬伝」の注目度・坂本龍馬の知名度と比較すると、朝ドラへの関心度・牧野博士の認知度はどうしてもスタート地点から異なってしまう。露出を高めながら、ポスター・のぼり旗・子ども向けPRリーフレットなどの発信ツールを利用し、「らんまん」放送スタートまでに県民に向けたPRを行い、牧野博士を県民みんなが知って応援することが必要。おもてなしの心を持った県民が増えることが県民の機

運を高めることに繋がる。アーケードには吊り看板・ペナント・フラフ・ポスター等で露出を図っていくとともに、マスコミPRによって全国への関心度が高まっていくよう取り組みたい。

- ・ 中心商店街の取り組みとして。オーテピア西敷地には仙台屋桜という牧野博士が命名した桜が植樹されているが弱っている。桜を再生するようなイベントができればと考えている。また、毎年5月3日～5日に行われているこうち春花まつり、日曜市と商店街との連携などを推進する。牧野植物園から県下の商店街にいかに来てもらうかが課題。

【発言】肥本委員

- ・ 郵便局の地域力の活用について。四国内の1300を超える郵便局窓口への、ポスター・チラシ・パンフレットの掲出、博覧会関連の数局では牧野博士のトレードマークである蝶ネクタイを窓口職員が着用、地域の方々が草花に親しんでもらえるよう建物周辺に花壇の設置を行うなどの取り組みを行う。
- ・ 郵便局の届ける力の活用について。賛同してもらえるお客様の荷物や、ポスト、業務用車に博覧会PRシールを貼る取り組みを予定している。ゆうパックの博覧会PR用の専用箱の制作など、四国内をあげて日本郵便として博覧会を盛り上げていきたい。

【発言】小林委員

- ・ 県内外の観光客誘致促進に向けた店舗の活用について。現在有人店舗が93店舗あり、各店舗のロビーに設置されたデジタルサイネージに牧野植物園や各種イベント情報を掲載し、認知度UPや観光客の誘客につなげる取り組みを行っている。また、今後は博覧会共通ロゴを使用し、情報発信の強化を図る予定。
- ・ 地元の機運盛り上げとして、牧野博士のお膝元である佐川支店や牧野植物園近隣の中央市場支店では、夏季期間中に職員が牧野ポロシャツを着用して営業活動を行った。今後は、共通ロゴが入った名刺を作成し、行員の意識を高めて話題作りにつなげたい。
- ・ SNS・スマートフォン向けの四国銀行アプリ(95000件登録)のオウンドメディアにて情報配信を行うなど、地域金融機関として博覧会の盛り上がり貢献したい。

【発言】植田委員

- ・ 資料7「県民の機運を高めていく取り組みについて(案)」内、「おもてなし宣言」について。これは県民におもてなし機運を高めてもらうために作った宣言。「らんまん」の放送にちなみ新たな宣言を作りたい。一部の人だけの博覧会ではなく県民皆が取り組むには工夫と広報が大切。HPなどを通じて「こんなことができる」、「こんなことをやるつもりだ」という投稿型コーナーを設置すれば、県民のおもてなしへの気づきが増えるのではないだろうか。「家の周りの道をきれいにする」、「観光客の記念撮影の際にシャッターを押す」、「花を植える」など、簡単で身近なことからおもてなしに取り組んでほしい。

【発言】葛目委員

- ・ 普段、観光ガイドが牧野博士について紹介することはあまりない。牧野博士についての知識を身につけるため、10月19日に牧野植物園にて県下60名のガイドを対象とした研修、11月9日には市内40名を対象とした研修を実施予定。また、県が作成した缶バッジを県下のガイドさんに付けてもらいPRを行いたいと考えている。シャトルバスでのガイドについても県と協議を進めている。

【発言】竹村委員

- ・ 牧野博士が酒蔵の息子であることを知ってもらいたい。お金を使い込んで酒蔵を潰してまで植物学者になったという経緯がある。「らんまん」のスタッフから江戸時代の酒造りについてなどの質問を受ける中で、ドラマの序盤では高知の酒蔵や酒造りのシーンが非常に多いと聞いている。波及効果として、土佐の酒をPRするには最高のタイミングであると思っている。高知県酒造組合は全国新酒鑑評会において、金賞・入賞率が今年度全国一位。県下蔵元の数を見比べると、酒蔵のレベルが日本一高いといえる。これは酒蔵に対して、牧野博士からの恩返しととらえることもできる。波及効果を利用して高知の酒のPRをして頂きたい。受賞率一位というのは、2023年5月25日までは言い続けられる。土佐の酒をどんどん売っていきたい。

【発言】常石委員

- ・ 田野町は牧野博士と接点が少ない中で、議案参考資料②「連続テレビ小説を生かした観光振興（スケジュール案）」内に記載されている『花のおもてなし』について。町内を通る国道55号では花壇が整備されている。各沿線市町村がそれぞれで整備をするのではなく、全体で『花のおもてなし』ができないだろうか。桂浜の花街道のような連続した整備を各市町村が一斉にできれば、おもてなしの維持につながる。国道事務所などと調整し、一丸となって展開していくと良いのではないだろうか。

6 その他

7 閉 会

進行：高知県観光政策課 仙頭課長補佐